

1. 科目名 (単位数)	教育課程論 (初等) (2 単位)		3. 科目番号	EDTE1103 EDTE3303
2. 授業担当教員	金子 康一			
4. 授業形態	講義、討議や発表学習を中心に	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	「学校において編成する教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。」ことの意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。			
8. 学習目標	1. 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 3. 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	1 期末試験: 新学習指導要領と教育課程の意義と役割、教育課程改革の必要性。キーワードの理解と考察 ○期末試験は、知識・理解問題と論述問題で実施する。書式等は授業中に通知する。 2 時々授業のまとめ及び感想意見を指定字数で記述し提出する。			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説「総則」』東洋館出版。 【参考書】 「新しい時代の教育課程」 第4版 有斐閣アルマ 小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 幼稚園教育要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の基準 1 教育課程の意義について理解し、説明できるか。 2 近代及び現代日本の教育課程の歩みと教育課程をめぐる現状と課題を理解し、説明できるか。 3. 学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解、説明できる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。			
12. 受講生への メッセージ	○ 学校教育の再生には、教育課程の現状と課題について考察し、改善に向けての方向性を明確にすることが重要である。教育課程の理論を学ぶと同時に、児童生徒の実態から具体的に理解を深めて欲しい。 ○ 受講生の皆さんの努力を通して、知識・理解力だけでなく、思考力・判断力・表現力や探求心の育成に寄与したいと考える。毎回の授業では、アクティブ・ラーニングを重視して実施する。			
13. オフィスアワー	無し			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	○オリエンテーション ・「教育課程論」の目標及び学習内容と今後の予定、 ・授業の進め方を確認する。 ・教育課程の定義について考える。	事前学習	シラバスを読み、講義概要を把握しておく。	
		事後学習	山積する今日的学習課題について考察し、教育課程論の科目の概要を理解する。	
第 2 回	○教育課程とは何か ・戦後 8 回実施された「学習指導要領等の改訂の経過」 から、教育課程改訂の歴史と改革の必要性を考える	事前学習	教科書 P146～157 を読んでおく	
		事後学習	学習指導要領改訂の経緯から、その時代に合った「教育課程」の必要性について理解する	
第 3 回	○学習指導要領 第 1 章 総説 1 改訂の経緯及び基本方針 2 改訂の要点 3 道徳の特別の教科化	事前学習	教科書 P1～10 を読んでおく	
		事後学習	学習指導要領改訂の基本方針及び改訂の要点等を理解する。	
第 4 回	○第 2 章 教育課程の基準 1 教育課程の意義 2 教育課程に関する法制	事前学習	教科書 P11～16 を読んでおく	
		事後学習	講義内容を踏まえ、教育課程の意義や教育法規により学習内容が決められていることを理解	
第 5 回	○第 3 章 教育課程の構成及び実施 (1) 1 小学校教育の基本と教育課程の役割 教育課程編成の原則、生きる力を育む教育活動の原則 育成を目指す資質能力、カリキュラム・マネジメント	事前学習	教科書 P17～45 を読んでおく	
		事後学習	各校が教育課程を編成・実施し、生きる力の育成やカリキュラムを充実させていることを理解	
第 6 回	○第 3 章 教育課程の構成及び実施 (2) 2 教育課程の編成① 教育目標と教育課程の編成、教科等横断的な視点に 立った資質・能力、教育課程の編成における共通的事 項	事前学習	教科書 P46～58 を読んでおく	
		事後学習	様々な資質・能力及び教育課程編成における内容の取り扱いについての要点をまとめる	
第 7 回	○第 3 章 教育課程の構成及び実施 (3) 2 教育課程の編成② 授業時数等の取り扱い、指導計画作成等での配慮事 項 幼小中の学校段階等間の接続	事前学習	教科書 P58～75 を読んでおく	
		事後学習	各教科等の授業時数、指導計画作成上の配慮事項及び学校段階間の接続の要点をまとめる	
第 8 回	○第 3 章 教育課程の構成及び実施 (4) 3 教育課程の実施と学習評価 主体的対話的で深い学びに向けた授業改善、 学習評価の充実	事前学習	教科書 P76～95 を読んでおく	
		事後学習	主体的対話的で深い学びに向けた授業改善及び学習評価の充実についての要点をまとめる	
第 9 回	○第 3 章 教育課程の構成及び実施 (5)	事前学習	教科書 P96～105 を読んでおく	

	4 児童の発達の支援① 児童の発達を支える指導の充実 学級経営、生徒指導、キャリア教育、個に応じた指導	事後学習	児童の発達を支える様々な指導の充実について要点をまとめる
第10回	○第3章 教育課程の構成及び実施 (6) 4 児童の発達の支援② 特別な配慮を必要とする児童への指導 障害児、帰国児童、外国籍児童、不登校児童	事前学習	教科書 P106～119 を読んでおく
		事後学習	特別な配慮を必要とする様々な児童への指導のあり方をまとめる
第11回	○第3章 教育課程の構成及び実施 (7) 5 学校運営上の留意事項 教育課程の改善(カリキュラム・マネジメント)と学校評価、家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携	事前学習	教科書 P120～127 を読んでおく
		事後学習	教育課程の PDCA の意義と学校評価の内容と方法及び家庭や地域社会との連携等をまとめる
第12回	○第3章 教育課程の構成及び実施 (8) 6 道徳教育推進上の配慮事項 道徳教育の指導体制と全体計画、指導内容の重点化、体験活動の充実といじめの防止、家庭や地域との連携	事前学習	教科書 P128～145 を読んでおく
		事後学習	教科化された道徳教育推進上の様々な配慮事項について要点をまとめる
第13回	○「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容について」の参考資料(小学校)を基にして考察する(1)	事前学習	教科書 P204～225 を読んでおく
		事後学習	様々な現代的な諸課題について、教科横断的にどのように指導するかを検討する
第14回	○「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容について」の参考資料(小学校)を基にして考察する(2)	事前学習	教科書 P228～245 を読んでおく
		事後学習	様々な現代的な諸課題について、教科横断的にどのように指導するかを検討する
第15回	○「幼稚園教育要領」を下にして、幼稚園教育の基本やねらい及び内容の理解と、幼小の接続を考察する。 ○教育課程論を学んでのまとめをする	事前学習	教科書 P250～262 を読んでおく
		事後学習	幼稚園教育の基本やねらい及び内容のまとめ教育課程論全体のまとめをする。
期末試験			